

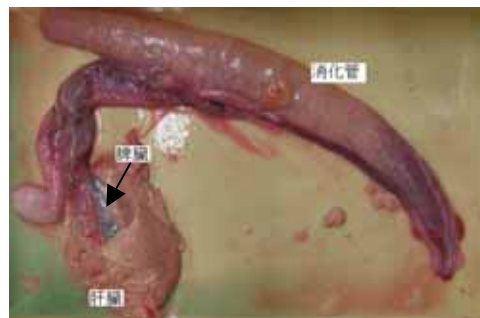
## 珍客来訪？ - サケガシラが漁獲されました -

2008年11月14日朝、余市郡漁協から定置網で珍しい魚が漁獲された、との連絡をいただき、中央水試資源管理部でその魚を調べました。



上の写真の魚です。尾びれの端が切れていますが全長は約 1.5m、体重は 9.1kg と大きく長い魚で、サケガシラという種とみられます。分類学的にはアカマンボウ目フリソデウオ科に属し、近縁種にはテンガイハタという種があります。図鑑によると両種の区別は頭部の形状であり、その判断はきわめて難しいということですが、北海道では太平洋側からの採捕報告が時々あり、道水試ではサケガシラとして扱っています。

サケガシラは北海道太平洋～沖縄、本州日本海の水深 200m 以浅に分布し、まれに沿岸の定置網類で漁獲され、各地のトピックスとなったりしています。大きいものでは 2.5m 以上に達するものもいるそうです。



採捕事例があるとはいえ、やはり珍しい魚ゆえに、その生物学的特徴はほとんど解っていません。今回漁獲された個体を観察すると、体表面は赤みを帯びておりタチウオのような銀色の色素でコートされていました。口は前側に飛び出すようになっており、眼球は大きくゼリーのような弾力があります。内臓は 1.5kg 程度あり、脾臓（写真の緑色の器官）が一般の魚に比べ大きく、太い消化管が体の 3分の2 を縦走しています。内容物はすでに消化された状態だったので食べた物を特定するには至りませんでした。魚卵とみられる粒状のものが観察できました。